

# 新潟地震展

体験、記録、復興の50年



昭和39(1964)年6月16日13時1分、粟島南方沖40kmを震源地とするマグニチュード7.5の地震が発生しました。信濃川に津波が押し寄せ、道路に地割れが走り、昭和大桥は崩れ落ち、川岸町の県営アパートが倒壊。新潟の町は、一瞬にして無残な光景に変貌したのです。

あの「新潟地震」の発生から50年の歳月が流れました。新潟地震を回顧する時、とかく被災の衝撃的な光景が目を引き寄せられますが、そうした映像の背後にあった社会的な動きをあらためて見直すと、この自然災害が戦後新潟の歴史と密接につながっていることを痛感させられます。

新潟の人々の被災経験は、災害への備えや避難計画、都市の再建・復興に生かされてきましたが、そうした知見は、写真や映像、絵画、文章、そしてそれらをもとにした地道な研究の積み重ねによって形成されてきたものです。この展覧会では、新潟地震をめぐる体験と記録、そして都市の復興に動いた人々の営為を紹介します。

下：黒字パートの解体作業(中保正善撮影)にいたる地域映像アーカイブデータベース所蔵  
右：南乃小学校(新潟地震罹災集まり)新潟市歴史博物館蔵  
左：名古屋水道局撮影水道復旧映像(新潟震災復旧応援)より(新潟市水道局蔵)



## 会期中のイベント

### 展示解説会

#### 当館学芸員による 展示資料の解説

- 日時:毎週日曜日 午後2時から(約30分間)
- 会場:1階企画展示室
- 事前申し込み不要。
- 当日の観覧券が必要です。

### 講座

#### 新潟地震映像上映会

「新潟地震」「復興のあゆみ」などの映像を上映します。  
※2回とも同じ内容です。

- 日時:①6月28日(土)②7月26日(土)
- 開場:午後1時 上映:午後1時30分~3時
- 会場:2階ミュージアム・シアター
- 当日受付・定員先着90名 参加費:無料

### 体験イベント

#### 実験!新潟地震 —『エッキーをつくろう』—

本格的な液状化実験装置を体験し、ペットボトルを使った簡単な液状化実験装置をつくります。

- 日時:8月10日(日) 午後2時~3時30分
- 会場:1階たいけんのひろば
- 当日受付・定員先着20名
- 参加費:無料

### 記念講演会

#### 歴史的地震研究の最前線

新潟地震をはじめとする過去の地震の研究が、どのように防災や減災に活用されているかを紹介します。

- 日時:7月20日(日) 午後1時30分~3時
- 会場:2階セミナー室
- 講師:卜部厚志(新潟大学災害・復興科学研究所准教授)
- 申し込み:往復はがきまたはメールに住所・氏名、連絡先電話番号を記入の上「記念講演会係」まで(7月13日必着)
- 定員:80名(多数の場合抽選とさせていただきます。)
- 参加費:資料代100円



### 他館の催し紹介

#### 歴史地震展 新潟地震50年

6月3日(火)~6月29日(日)  
■主催 新潟大学災害・復興科学研究所、新潟大学附属図書館  
■場所 新潟大学駅南キャンパスときめいと  
(問合せ:新潟大学附属図書館資料公開係 025-262-6220)

#### 新潟地震講演会

矢田俊文「1833年庄内沖地震と1964年新潟地震」  
中村 元「日本近現代史研究と新潟地震」  
卜部厚志「新潟地震の被害と液状化」  
6月11日(水)17時45分~20時  
■会場 新潟大学駅南キャンパスときめいと  
■主催 新潟大学災害・復興科学研究所、新潟大学附属図書館  
(問合せ:新潟大学附属図書館資料公開係 025-262-6220)

#### 中越大地震10周年

リレー講演会「災害史に学ぶ」  
矢田俊文「災害の歴史に何を学ぶか  
~地震・津波・洪水と長岡藩主牧野家の記録~」  
6月22日(日)14時~16時  
■主催 長岡市・長岡市教育委員会  
■場所 長岡市立中央公民館大ホール  
(問合せ:長岡市立中央図書館文書資料室 0258-36-7832)

### インフォメーション

#### 観覧料

	一般	団体(20人以上)
大人	500円	400円
大学生・高校生	300円	240円
中学生・小学生	200円	160円

※土・日曜日及び祝日は中学生・小学生は無料。企画展の観覧券で、常設展もご覧いただけます。  
※6月16日(月)は臨時閉館・企画常設展とも観覧無料。

■開館時間:午前9時半~午後6時

■休館日:月曜日(ただし6月16日、7月21日、8月11日は開館)、7月22日(火)

■お問い合わせ・講演会申し込み先

新潟市歴史博物館 〒951-8013 新潟市中央区柳島町 2-10  
Tel: 025-225-6111 Fax: 025-225-6130  
URL: <http://www.nchm.jp> E-Mail: [museum@nchm.jp](mailto:museum@nchm.jp)

#### 交通案内

- 新潟駅より: 新潟観光循環バス(犬夜叉号)で27分「歴史博物館前」バス停下車すぐ
- 車で: 新潟バイパス紫竹山ICより約15分(駐車場73台収容可能)
- 信濃川ウォーターシャトルが敷地脇より発着

